

理事 渡部 二郎

先日、テレビのワイドショーを見ていたら、日本の恥の文化について話しあっていた。町角でキスをする、お揃いの服を着る。手をつないで歩くなど、性別年齢層別のアンケート数字を見ながらの社会批評である。

そのうちに、40才前後の若い評論家が、「おてんとさまに恥ずかしい事」以外なら何をしても、人それぞれの感じ方で良いと思う。だから私は嫁さんと買い物をしたり、時には女性下着売場で品定めをしたりも平気でしています、と言った。この「おてんとさま……」が聞こえた時、ギクツとしてテレビを見詰めなおしたくらい驚いた。それから色々考えた。

最近の世相を見る時、なんとこの言葉の空しく響くことか。阪神大震災で再浮上した危機管理・オウム・薬害エイズ・住専・子供達のいじめによる自殺などの諸問題。

これは、戦後のどん底で自らを否定し、食って生きることに専念し、次いでアメリカに追いつけ越せで忙しくやって来たせいで「おてんとさま」を忘れてしまっていたのだろう

私は下町育ちで、幼い頃は隣近所の話し声が、流しの物売りの声と共によく聞こえたものだ。母親が子供を叱る時、「父ちゃんに怒られるよ」「先生に……」「お巡りさんに……」、又それぞれ「……に云いつけるよ」である。父親がたまに雷を落す時には、「そんなことして、おてんとさまに恥ずかしいと思わねえか」である。落語にも出て来る下町の風景である。この様に、戦前の子供達は、色々な場面で自然に躰の基本として「おてんとさま」を身体にたたきこまれていたのだと思う。

この「おてんとさま」とは何だろうと、辞書を引いてみた。

〔御天道様〕 天地を支配する神の意。「太陽」の意の口語的表現。

〔天〕では、「中国古代の思想」「宗教」「仏教」等に関連して広く記述されており、変幻自在な大きな概念である。

ひるがえって、西洋ではどうであろうか。

バイブルに左手を乗せ、右手を前にかざして宣誓している、アメリカ大統領就任の厳粛な情景にテレビでたまに出合う。幼少の頃から躰けられてきたキリスト教唯一の教典に手を触れて、神の愛と恵みによる魂の救いの信仰を、就任に当たって神に宣誓する儀式である。大統領として、何かを決断する時の原点の姿を国民に示しているのだ。

いずれにしろ、洋の東西を問わず、人は皆せわしい日常の中で、時には「お天道様」或いは「神」という人為の及ばない、とてつもなく大きなものに憧れ、それとの対面で心を清め、諸々の悩みを解消しようとの願望が自然に湧いてくるものと思われる。

情報通信革命と迅速大量輸送の発達、地球人口の80%を占める発展途上国に急速な経済成長をもたらしつつあるが、一方地球規模で人口爆発と食料、資源エネルギー枯渇、あるいは環境悪化などの問題が、南北問題も含めて深刻な課題となりつつある。

このような世界の場合の中で、我が国では1993年に「環境基本法」が施工され、また1995年には「科学技術基本法」が成立した。資源小国のわが国の地球規模課題への貢献と生き残り作戦として、活きた実績をあげて貰いたい。

科学技術は宇宙から素粒子・遺伝子まで、広がっている。そのなかで食料を含む資源エネルギー関連の技術と環境関連の技術については、マンハッタン計画やアポロ計画のように、具体的な計画を立て、あらゆる努力を集中して目標を達成すべきであるという意見に賛成である。さらに先進国共通の課題として世界を巻き込んだらと思っている。

特に植物の光合成メカニズムを応用した再生可能なエネルギーの得られる一大革新産業が早期に出現することを期待したい。

このような計画を進めるには膨大な資金を必要とする。限られた国家予算の配分、重点開発研究分野等の審議決定に当っては、担当する各人が、御天道様と向き合う心で進めて戴きたい。

最近、薬害エイズ問題で菅厚生大臣が、「その気になってやれば出来る」と、国中に涼風を送って呉れた。御天道様に恥じない決断と行動をした結果であろう。今後もこれを期待したい。

よく建前と本音とか、総論賛成・各論反対の場面にぶつかることがあるが、何が本音なのか、賛成と反対の整合点はどこにあるのか、御天道様と対面するつもりで検討し決断して行く。

クリスチャンは毎週日曜日に教会で、神の言葉に接する。

同じように「御天道様に恥じない」を親が子を、先生が生徒を、上司が部下を叱る時に使う。但しお天道様に恥じるような大事な時にはしっかり叱る。その他の時には出来るだけ自由に、おおらかにこと考える。

〔おわりに〕

日本の恥の文化の象徴として、「御天道様に恥じない」を押し進めようではありませんか。

この言葉は、お題目ではなく、個人の尊厳を維持する心の中の言葉だと思います。

